

【事業の経緯】

別添資料1

森整-1 西彼杵半島線森林基幹道開設事業の経緯

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B/C	概要
		着工	完了			
当初 (H6)	—	H7	H26	288.0	2.77	道路40.8km
第1回審議 (H16)	再評価後 10年経過	H7	H26	288.0	2.77	・残事業実施のための 工期延長 道路40.8km
第2回審議 (H21)	再評価後 5年経過	H7	H26	216.0	1.60	・残事業実施のための 工期延長 道路40.8km
第3回審議 (H27:今回)	社会経済情勢 の変化	H7	H28	207.3	1.21	・H26豪雨災害のため の工期延長 道路40.7km

※今回が第1回審議の場合も、「提出もれ」を防ぐ為に、提出をお願いします。

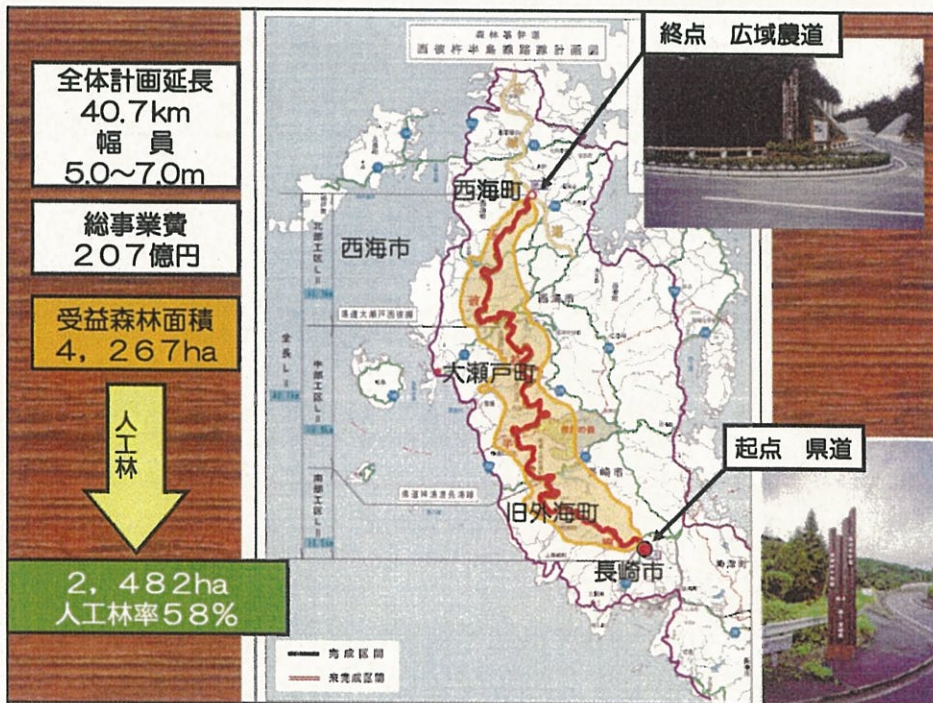
事業再評価調査

農林部 森林整備室

事業種別	林道開設事業		地区名	市町村名	事業主体	整理番号	
			森林基幹道 西彼杵半島線	長崎市、西海市	長崎県	森整-1	
再評価の実施理由		社会経済情勢の変化					
事業採 択年度	H 6	用地着 手年度	H 7	工事着 手年度	H 7	当初工期	H 7～H 26 (20ヶ年)
						変更工期	H 7～H 28 (22ヶ年)
当初事業費	21,600,000 千円		変更の理由等：線形の検討による切盛、構造物、捨土の減少による。				
変更事業費	20,729,212 千円						
全体事業費 (うち用地費)	20,729,212 千円 ( - )千円		既投資額 20,629,212 千円 (進捗率99.5%) (うち用地費) ( - )千円 (進捗率 %)				
年度区分	当該 (H 2 7) 年度			翌年度 (H 2 8) 以降			
事業費 (うち用地費)	60,000千円 (進捗率99.8%) ( - )千円 (進捗率 %)			40,000 千円 ( - )千円			
事業の概要	<p>【事業の概要】 西彼杵半島の2市の森林地域を連絡し、林業生産性の向上と林産物輸送体系の確立及び防火対策等に対応する骨格林道として整備するとともに、山村の生活環境の改善を図ることを目的としている。</p> <p>【事業の内容等】 受益面積 4,267ha (針葉樹2,482ha 広葉樹1,785ha) 主要工事計画 道路工40,674m 幅員 全幅員 5.0～7.0m 車道幅員 4.0～5.5m</p> <p>【事業効果】 ① 高性能林業機械作業システムの基幹道路であり、ここから支線となる林業専用道・森林作業道等を整備することにより、低コストの利用間伐が可能となり、林業所得向上・森林整備の促進が図られる。 ② 神浦ダム、雪浦ダムの周辺には水源かん養保安林が多く、ここから供給される水は長崎市の水源となっている。水源かん養機能を維持増進していくためには、森林の整備が不可欠であり、路網を整備することにより森林整備の促進が図られる。 ③ 当路線が防火帯として山林火災の延焼を防ぎ、防火機能の高度発揮が図られる。</p>						
	評価項目	<p>【事業の進捗状況並びに進捗見込】 平成26年度までの事業進捗率は97.6% (延長) である。 平成26年度完成を目指していたが7月豪雨 (長崎大水害を超える、観測以来最高雨量を記録) により、施工区間・工事用道路が被災しその復旧のため2年間の工期延期が必要となった。</p> <p>【関連事業の進捗状況】 ながさき農林業・農山村活性化計画で『快適で安全に暮らせる農山村の構築』のための主要な事業であり、順調に推移してきた。</p> <p>【長期化の理由】 工事延長が長く、工事搬入路が限られているため。</p>					

評 価 項 目	<p><b>【事業を巡る社会・経済等情勢等変化】</b>          利用区域内の人工林率は58%と県平均（43%）を大きく上回っているが、間伐等が必要な要整備森林が約8割を占めており、森林の整備が急がれる。また、伐期を超えた林分は、人工林の約3分の1の800haと大幅に増加している。          しかし、事業の進捗が遅れている中部工区には、上記主伐対象林分800haの約40%（330ha）を占める豊富な森林資源があるため、早急な完成を目指す必要がある。</p>
	<p><b>【事業計画の重要な部分の変更の必要性の有無】</b>          ①受益地域 : なし          ②主要工事計画 : なし（40,800m→40,674m -126m）          ③事業費 : なし（216.0億→207.3億 -8.7億）          ④工期 : あり；H7～H26（20ケ年）→H7～H28（22ケ年）</p>
	<p><b>【費用対効果分析の基礎となる要因の変化】</b>          なし          ただし効果分析手法の改正により費用対効果が以下のとおり減少した（1.60→1.21）</p>
	<p><b>【費用対効果（B/C）】</b> （計画事業費は事務費を含む）          総便益（B） 44,877,493千円          総費用（C） 37,211,547千円          投資効率 1.21</p>
	<p><b>【地元（受益者、関係機関等）の意向】</b>          ① 受益者          森林の整備の促進および防火機能の高度発揮が図られるとともに、地域の骨格道路となることから地元は当路線の早期完成を切望している。           ② 市町村          西彼杵半島線事業推進連絡会を設置しており、早急な完成を切望している。</p>
	<p><b>【コスト縮減や代替案の可能性】</b>          前回の再評価において、1.2kmを一車線へ構造を見直しており7.2億円のコスト縮減を図った。          森林区域内の森林基幹道であり他の施設等での代替案の可能性はない。</p>
	<p><b>【自然や生活環境保全への配慮】</b>          国、県の公園保護区域には入っていないが、計画路線周辺には石鍋等の遺跡が点在するため、関係機関と協議を行っている。          切取法面や盛土法面は、早期緑化を行い土砂の流出防止を図っている。          また、防火機能を高度に発揮させるため、盛土法面には防火樹を植栽している。</p>
	<p><b>【その他特記事項】</b></p>
	<p><b>【評価項目のまとめ】</b>          1)当該森林区域は、事業完了予定の平成20年代後半に木材生産時期となる主伐対象林分が大幅に増大する。          木材の生産には、高性能林業機械作業システムの構築が必要であり、そのために、基盤となる当路線の早期完成が求められる。          2)森林資源を林野火災から守る防火林道、県民の森をはじめとした森林の保健休養施設へのアクセス道路のほか地域の骨格道路としても活用できることから、地元から早期完成を切望されている。</p>
	<p><b>【農林部評価委員会の評価(案)】</b></p>
<p><b>【評価監視委員会の意見】</b></p>	
<p><b>【事業の実施方針】</b></p>	







## 林道開設による3つの効果

1. 効率良い作業システムによるコスト縮減により林業所得の向上。







## 事業による3つの効果

1. 効率良い作業システムによるコスト縮減により林業所得の向上。
2. 防火林道として、林野火災からみんなの生活を守ります。



## 防火水槽の設置



## 森林火災に活用





## 事業による3つの効果

1. 効率良い作業システムによるコスト縮減により林業所得の向上。
2. 防火林道として、林野火災からみんなの生活を守ります。
3. レクリエーション施設へのアクセス道路、生活の骨格道路として利用され生活をより豊かにしていきます。







## 工期延期理由

九州北部・山口地方は3日、梅雨前線に温かく湿った空気が流れ込み、激しい雨が降り見舞われた。気象庁は、長崎県の一部で、50年に一度の大雨を観測したと発表し警戒を呼び掛けた。各地で被害も起きたが、死者は出なかった。

(24面に開通予定) 同日午前3時降雨量

長崎50年に一度の大雨

九州北部・山口地方は3日、梅雨前線に温かく湿った空気が流れ込み、激しい雨が降り見舞われた。気象庁は、長崎県の一部で、50年に一度の大雨を観測したと発表し警戒を呼び掛けた。各地で被害も起きたが、死者は出なかった。

大向の影響で、凍水した道路を走る車。長崎市で3日午前3時

平成26年7月4日 (毎日新聞)



## 被災状況写真

(口福2工区・7月豪雨)



## 被災状況写真

(7月豪雨)

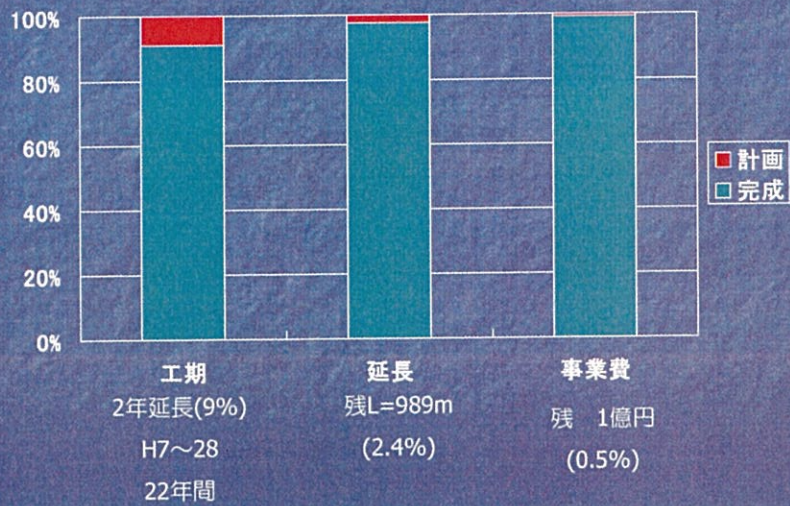




## 被災状況写真 (8月豪雨)



## 事業計画





西彼杵半島線費用対効果 1. 21

総便益 (B) : 249億9,700万円

-----  
総費用 (C) : 207億2,900万円

森林基幹道路  
事業再評価説明資料

おわり

長崎県 県央振興局 農林部 森林土木課



【事業の経緯】

別添資料1

森整-2 上五島縦貫線森林管理道開設事業の経緯

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B/C	概要
		着工	完了			
当初	—	H12	H26	30.0	1.20	道路10.7km
第1回審議 (H22)	再評価後 10年経過	H7	H26	26.6	1.32	・残事業実施のための 工期延長 道路10.7km
第3回審議 (H27:今回)	再評価後 5年経過	H7	H30	27.0	1.12	・残事業実施のための 工期延長 道路10.9km

※今回が第1回審議の場合も、「提出もれ」を防ぐ為に、提出をお願いします。

# 事業再評価調査

農林部 森林整備室

事業種別	育成林整備事業		地区名	市町村名	事業主体	整理番号
			森林管理道 上五島縦貫線	新上五島町	長崎県	森整-2
再評価の実施理由		再評価後 5年経過				
事業採 択年度	H12	用地着 手年度	H12	工事着 手年度	H12	当初工期 H12~H26(15ヶ年) 変更工期 H12~H30(19ヶ年)
	当初事業費	2,660,000千円		変更の理由等:地形が急峻で工事延長が長く、また、新たな用地問題の発生により事業工期が延長となった。		
変更事業費	- 千円					
全体事業費 (うち用地費)	2,700,000千円 ( - )千円		既投資額 (うち用地費)	2,075,133千円 (進捗率76.9%) ( - )千円 (進捗率 - %)		
年度区分	当該(H27)年度			翌年度(H28)以降		
事業費 (うち用地費)	180,000千円 (進捗率83.5%) ( - )千円 (進捗率 - %)			444,867千円 ( - )千円		
事 業 の 概 要	【事業の概要】					
	<p>本路線は今里地区-国道384号線を起点とし、宿ノ浦地区-主要地方道有川奈良尾線に至り、島の中央部の森林地帯を縦断する。</p> <p>利用区域内の森林面積は792 haでその内、人工林が500 haを占めており、森林の整備を行うことによって公益的機能を発揮させるとともに、地域林業の活性化を図るためにも地元から早期の開設を強く要望されている重要な路線である。</p>					
	【事業の内容等】					
	<p>受益面積 792ha(針葉樹500ha 広葉樹292ha)</p> <p>主要工事計画                  道路工 10,940m                  幅員 全幅員4.0~5.0m 車道幅員3.0~4.0m</p>					
評 価 項 目	【事業効果】					
	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 島内の基幹となる森林管理道として地域林業振興と活性化を図る。</li> <li>② 森林経営計画に基づき適正な森林管理や森林施業推進を図る。</li> <li>③ 当林道を骨格とする高性能機械の導入に向けた路網整備を図る。</li> </ol>					
	【事業の進捗状況並びに進捗見込】					
	<p>平成26年度迄の事業の進捗率は74.9%(延長)である。</p> <p>平成21年度から平成26年度は既設の支線林道から工事用搬入路を確保して新たな工区を新設し3~4工区体制で実施している。</p>					
【関連事業の進捗状況】						
<p>当林道の利用区域内にある官行造林地(国事業)122haの内、既開設沿線では間伐等の森林整備事業が35ha実施されている。</p> <p>また、同利用区域内に三日ノ浦「森林経営計画」の設定が行われ、利用間伐(搬出)が13ha実施されて間伐材が島外へ出荷されている。</p>						
【長期化の理由】						
<p>・当地区は、①新たな用地問題発生、②地形が急峻で狭隘、③工区間の土砂流用のため盛土区間の施工が遅れたことにより事業が長期化している状況。</p>						



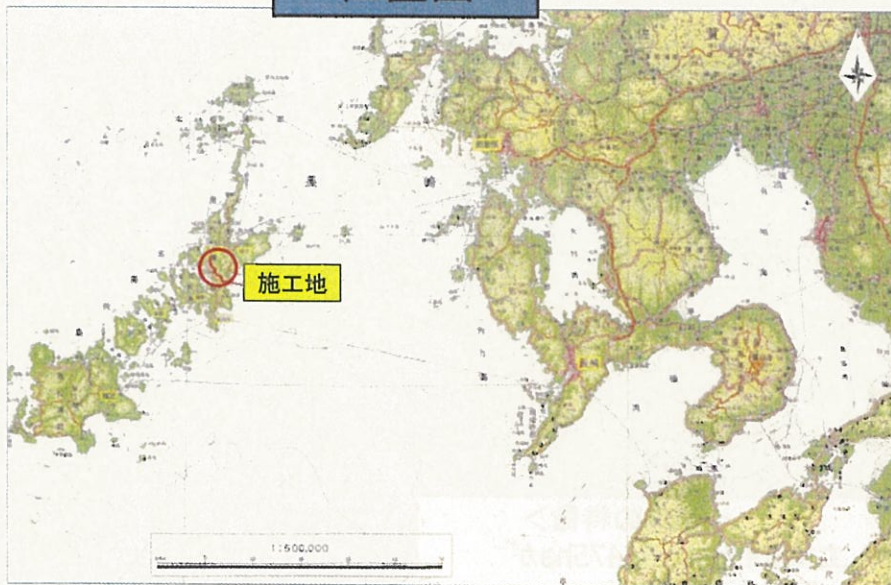
評 価 項 目	<p><b>【事業を巡る社会・経済等情勢等変化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用区域内の人工林率は61%と県平均(43%)を大きく上回っている。人工林500haのうち475ha(95%)が伐期令を越えており林道の全線開通を急ぐ必要がある。</li> <li>・平成22年度からの搬出間伐の増加に伴い、大型運搬車両の通路として重要性が増した。</li> <li>・西彼杵半島線工区数の減少に伴い、本路線への予算の重点投資により早期完成を目指す。</li> </ul> <p><b>【事業計画の重要な部分の変更の必要性の有無】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①受益地域 :なし</li> <li>②主要工事計画 :全体計画延長 10,740m → 10,940m (200m増) (詳細測量の結果)</li> <li>③事業費 :2,660,000千円 → 2,700,000千円 (40,000千円増)</li> </ul> <p><b>【費用対効果分析の基礎となる要因の変化】</b></p> <p>平成24年度の「林野公共事業における事前評価手法について」の見直しに伴う算定便益の減少</p> <p><b>【費用対効果(B/C)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画事業費 2,660,000千円 → 2,700,000千円 (40,000千円増)</li> <li>妥当投資額 3,511,200千円 → 3,024,000千円 (487,200千円減)</li> <li>投資効率 1.32 → 1.12 (0.20減)</li> </ul> <p><b>【地元(受益農家、関係機関等)の意向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①受益者 地元の強い要望の末に着手となった林道で、開設による林業生産性の向上及び林業活性化に対する期待が大きい。</li> <li>②市町村 林業機械化の推進による、林業経営の合理化を図るため本事業の早期完成を望んでいる。</li> </ul> <p><b>【コスト縮減や代替案の可能性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①地形が急峻な一部区間において、路肩内にL型側溝を設置して幅員を5.0mから4.0mに縮小し、全体事業費を3億4千万円縮減している。</li> <li>②平面・縦断線形を再検討して切土・盛土を少なくすると共に、適所に森林整備のための作業場を盛土部に造成して残土の有効利用を図り経費を2億5千万円縮減している。 ・森林区域内の森林管理道開設事業であり、他の施設での代替は困難である。</li> </ul> <p><b>【自然や生活環境保全への配慮】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①切取法面や盛土法面は、早期緑化を行い土砂流出防止を図っている。 さらに盛土法面には、木柵工等を施工して土砂の流出及び汚濁を防止している。</li> <li>②U型側溝に替えてL型側溝工を施工し、昆虫、小動物への影響を小さくする。</li> </ul> <p><b>【その他特記事項】</b></p> <p>国立公園内に位置する一部開設区間については環境庁との協議を行っている。</p> <p><b>【評価項目のまとめ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1)上五島地区の骨格となる林道が今後の林業の活性化、効率化には不可欠である。</li> <li>2)現在も利用区域内では継続的に森林施業がなされており、当林道開設により更なる森林整備量の増が見込める。</li> </ul>	
	【農林部評価委員会の評価(案)】	継続をお願いしたい
	【評価監視委員会の意見】	
	【事業の実施方針】	

# 上五島縦貫線 開設工事

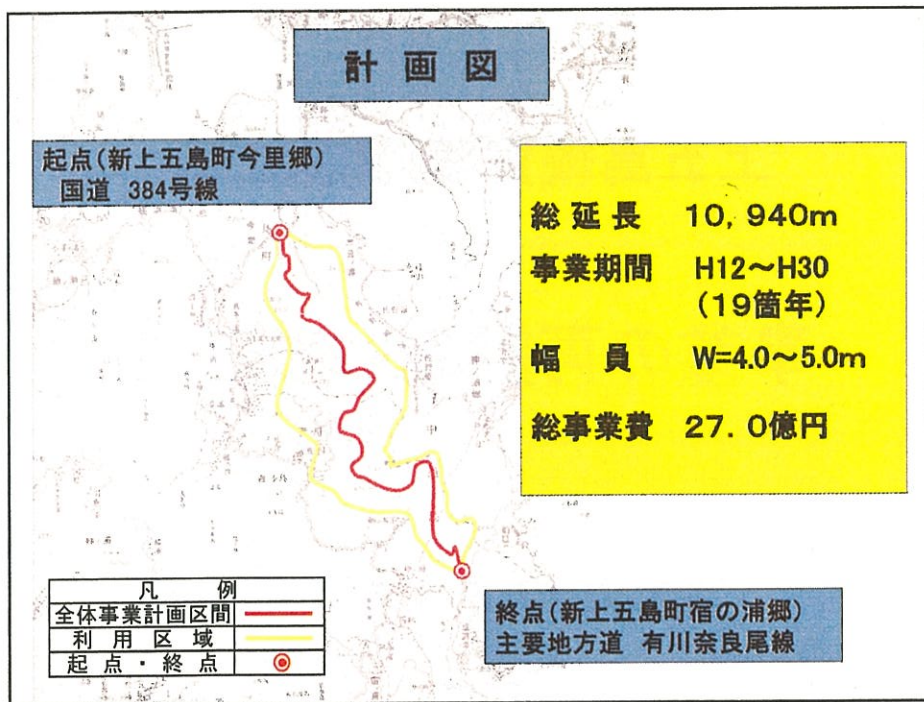
## 事業の再評価について

五島振興局農林水産部林務課

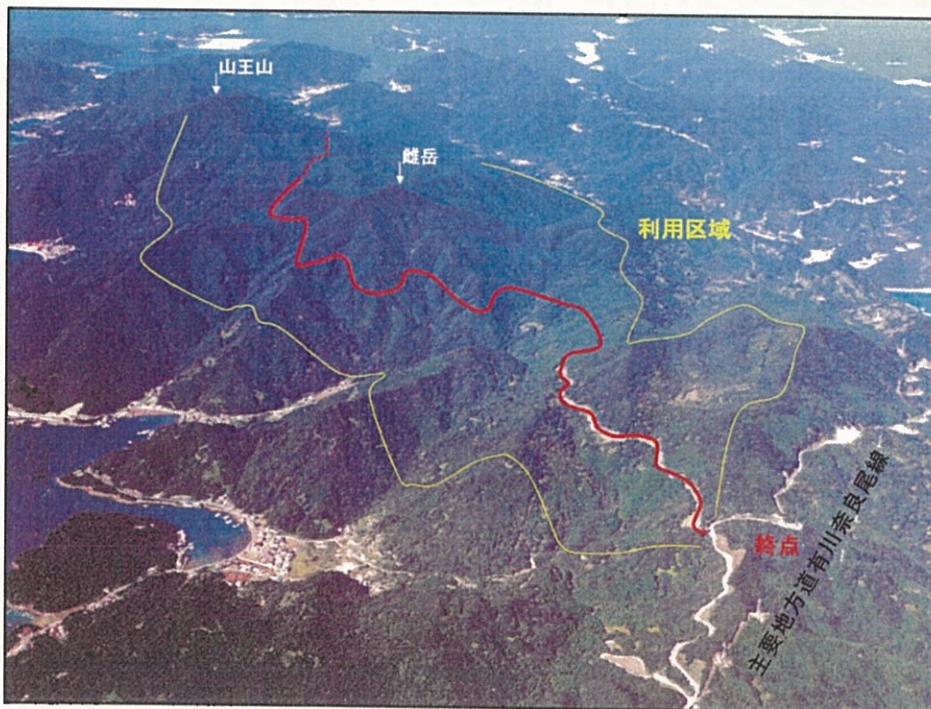
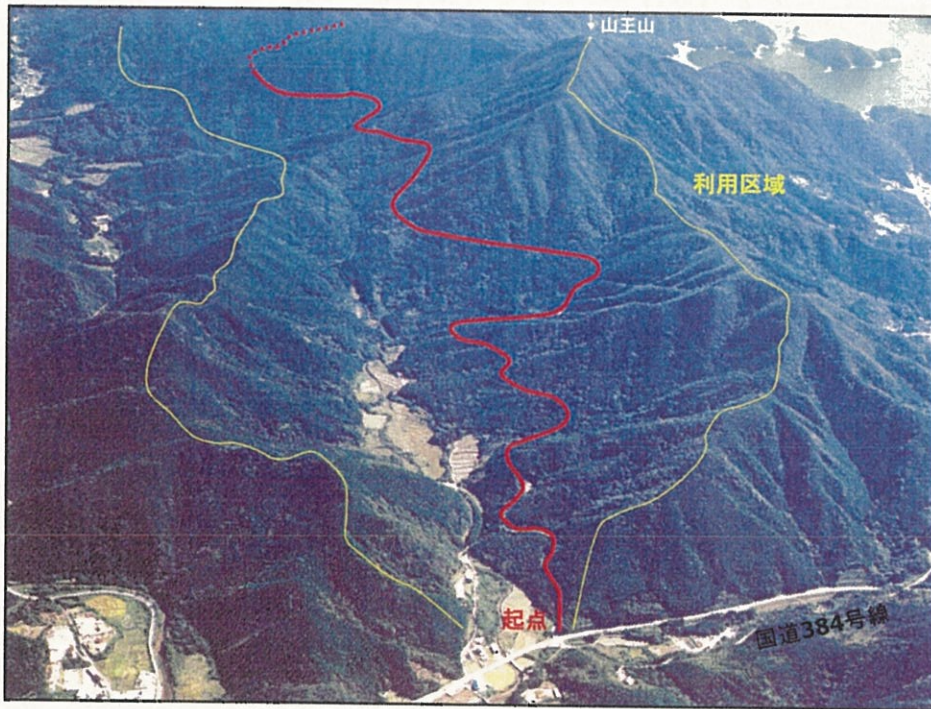
### 位置図













## ●再評価の理由

前回再評価後5年経過

## ●計画変更内容

1. 工期:12~26年度 → 12~30年度  
(4年間延長)
2. 延長:10.7km → 10.9km(0.2km増)  
(詳細の設計測量の結果)
3. 総事業費:26億6千万 → 27億円  
(延長増0.2kmによる)

## ●費用対効果

前回評価時点1.32

今回評価時点1.12

- 木材価格の下落による木材の評価減
- 森林整備に係る経費の増

